

# サイバー（被害者）によるG7への行動喚起：子どもへの性的暴力をなくすための予防、癒し、正義

## G7への行動喚起

幼年期や青年期における性暴力のサイバー（被害者）やその支持者が力を合わせ、今年のG7<sup>1</sup>首脳に大胆かつ変革的な行動を求めます：

### 1.

#### 子どもへの性的暴力の終結を優先する

G7の指導者たちは、6月の会合でこの問題を議題に含め、コミュニケで具体的かつ期限付きのコミットメントを行う必要があります

G7の内務・安全保障担当大臣は、2022年に会合を開き、子どもへの性的搾取や虐待に対処するための行動計画を推進する必要があります。この作業は、2021年に発表されたG7作業部会から情報を得る必要があります

### 2.

#### G7の既存のコミットメントを実現する

中低所得国における予防、癒し、正義のプログラムを拡大するため、Global Partnership to End Violence Against Children（子どもへの暴力をなくすためのグローバル・パートナーシップ）に設置されたEnd Violence Fund（エンド・バイオレンス基金）に10億ドルを新たにコミットする

子どもの権利に配慮したエンド・ツー・エンドの暗号化について法制化し、子どもへの性的暴力への利用を防止することを約束する

6月のG7サミットに先立ち、産業界との協調的関与のための合意されたG7プランを公表する

<sup>1</sup> Group of Seven G7

7（）は、カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、英国、米国という、最も裕福な7つの自由民主主義国家で構成されています。

### 3.

#### サバイバーに寄り添う

G7は、G7の政策に情報を提供し、サバイバーの知識が政策や実践に含まれるようにするため、諮問機関としてG7サバイバー評議会を設立する必要があります

▶ 十分な資金があり、大規模な予防や、癒やし、正義に関する法律とプログラムに焦点を当てた政府全体のアプローチ

▶ 幼少期に性的暴力を受けた子どもや成人のサバイバーとの接し方や支援方法について、関係するすべての国家公務員に研修を行う

### 4.

#### 国家行動計画や戦略を策定・実施する

これらは、既存のNational Action Plans to End Violence Against Children (子どもへの暴力をなくすための国家行動計画) に組み込み、WePROTECT Model National Response (WePROTECTモデル国家対応) 2に基づいて構築する必要があります。以下を含む必要があります。

▶ すべてのサバイバーのための十分な支援サービスや、そのようなサービスを利用することに対する偏見を取り除くための国家的キャンペーン

▶ まだ撤廃されていない場合は、子どもへの性的暴力に関する時効を撤廃する

▶ 子どもへの暴力やその目撃者に対応するための、子どもに優しい地域ベースのアプローチ

▶ 子どもへの性的暴力加害者の心理的動機の研究や、克服のための支援プログラム

子どもへの性的暴力という忌まわしい世界的な危機は、多くのサバイバーが経験する壊滅的な汚名や社会的な恥辱のために名乗り出るのが困難なこともあり、ほとんど目に見えないものとなっています。それは、家庭や、学校、礼拝所、地域社会、スポーツプログラム、オンライン、そして交際関係や児童婚などの場面で発生します。コロナ禍の影響により、オンラインでの性的虐待や搾取のリスクが高まるとともに、虐待を経験した人のための予防や、介入、対応サービスへのアクセスが減少しています。

このような状況に甘んじる必要はありません。サバイバーやその支援者である私たちは、現在や未来のすべての世代を守るための予防に加え、被害者や、サバイバー、その家族のための癒し、そして不正を行った者や、加担者、被害者のための正義を要求します。

<sup>1</sup><https://www.weprotect.org/model-national-response/>  
<sup>2</sup>2021 性的虐待への対処戦略 (年)

**売買や性的搾取についても、世界的な取り組みが必要です。また、G7が以前から認めているとおり、サバイバーを支援するための資金調達には多国間の取り組みが必要です。**

G7サミットは、2022年6月26日から28日にかけて、ショルツ首相とドイツ政府の主催で、バイエルン・アルプスのエルマウ城で開催される予定です。サミットにおいて、G7は児童の性的搾取や虐待（CSAE）と闘うためのG7内務・安全保障担当大臣2021年行動計画や、「デジタルを利用した性的およびジェンダーに基づく暴力、虐待、ハラスメントを終わらせる」という2018年G7首脳会議でのシャルルボワ・コミットメントなど、これまでのコミットメントを踏まえ、強化する必要があります。

G7首脳は、子どもに対するあらゆる形態の暴力をなくすために、SDGの具体的な目標16.2を実施する必要があります。ドイツは自身のプラットフォームを構築し、リーダーとしての信頼性を高めることができます。過去12年間に、ドイツはCSAE独立委員会、政治的諮問機関としての サバイバー評議会、CSAEに関する独立調査委員会、ドイツのCSAEに関するステークホルダーフォーラム という4つの重要な取り組みに投資してきました。これらはすべてドイツ連邦議会で歓迎されており、新しいドイツ政府はさらなる取り組みを約束しています。

「子どもへの性的暴力をなくすためのBraveムーブメントにぜひご参加ください」

## BRAVEムーブメントについて

Braveムーブメントは、子どもに対する性暴力をなくすために、まもなく開始されるサバイバー主導のパワフルでグローバルな新しい運動です。Oak Foundationからの1,000万ドルの助成金を受けたこの提唱運動は、G7諸国を皮切りに、**変化をもたらす強力な世界的勢力となるべく準備を進めています。**

Braveムーブメントは、G7各国のサバイバー・ネットワークやサバイバー・リーダーを動員しています。このG7サバイバー・タスクフォースは、すべてのG7諸国から代表者が集まり、ドイツのサバイバー会議のWibke Müller氏と、サバイバーによるイニシアティブであるECKIGERTischのスポークスマンで、ドイツのCSAEに関する独立調査委員会のメンバーであるMatthias Katsch氏という2人のサバイバー・リーダーが委員長を務めています。私たちの動員およびアドボカシー活動では、4月のサバイバー・サミットや、グローバルな行動喚起を予定しています。

## Braveニュースルームへのお問い合わせ

Braveムーブメントについて詳しい情報をご希望の報道・メディア関係の方は、Braveニュースルーム ([press@bravemovement.org](mailto:press@bravemovement.org)) までご連絡ください。

Braveニュースルームは、子どもへの性的暴力をなくすために、サバイバーからの呼びかけを広め、賛同者を募り、世界中の支援者を結集して、この活動を支援しています。協賛団体子どもへの性的暴力をなくすためのBraveムーブメントにぜひご参加ください」

「子どもへの性的暴力をなくすためのBraveムーブメントにぜひご参加ください」



「子どもへの性的暴力をなくすためのBraveムーブメントにぜひご参加ください」